

城南中学校区の小中一貫教育の方向性について

町ではこれまで、折原小学校、鉢形小学校の校舎等の老朽化及び折原小学校の複式学級の常態化の課題解決に向け、地域住民・関係者の皆様との話し合いのもと、城南中学校区の再編整備事業に取り組んでまいりました。

今回の基本設計の図面のとおり、統合小学校と城南中学校は、施設一体型として整備したいと考えています。この施設一体型のメリットを生かすためには、小中一貫型小学校・中学校又は義務教育学校への移行を検討する必要があると考えています。

双方とも下表のとおり、教育課程においては、9年間を見通した教育目標を設定し、系統性を確保した教育課程を編成することとされており、相違はありません。また、一貫教育に必要な独自教科の設定や指導内容の入替・移行も可能となっており、その点でも違いはありません。

大きく異なる点は、経営面であり、小中一貫型小学校・中学校はこれまでどおり、小・中学校それぞれに校長と教職員組織を置くことができますが、義務教育学校では、1人の校長の下、1つの教職員組織に集約しなければなりません。

長い歴史を持つ折原小学校と鉢形小学校を統合することになりますので、校長は、それぞれの学校経営スタイル等を擦り合わせて、新しい学校を創るため全力を注がなければなりません。そのためには児童や保護者、地域、教職員の声をしっかりと聞き、学校経営に取り入れていく必要があります。

また、小中一貫教育校に移行した場合でも「児童と直接関わる機会を多く設けて、手厚い指導を行っていく小学校の期間」と「教職員の専門性を生かし、不登校生徒への対応や日々行っている生徒指導・生徒がより良い進路を選択するための進路指導等を行う中学校の期間」との成長段階に合わせた指導・対応が必要なことに変わりはありません。

加えて、複数の小学校の統合は、町においては初めての取り組みであります。

さらに、これから再編後の学校に通う児童生徒の環境が変わることへのストレス等の影響にも慎重かつ手厚く対応していく必要があります。

これらのことを踏まえ、校長2人体制での確実な統合と小中一貫教育の深化を図りたいと考えております。

この方向性に対し、皆様の忌憚のないご意見をお待ちしております。

小中一貫教育校の類型と学校運営について

	小中一貫型小学校・中学校	義務教育学校
修業年限	・ <u>小学校6年</u> ・ <u>中学校3年</u>	<u>9年</u>
経営	<u>小学校・中学校それぞれに校長</u>	<u>1人の校長</u>
教育課程	・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性を確保した教育課程の編成 (一貫教育に必要な独自教科の設定や指導内容の入替・移行も可能)	
教員免許状	所属する学校の免許状を保有していること	原則、小・中学校の両免許状を併有
教職員の人件費	国庫負担	
施設整備費	施設費国庫負担・補助の対象 (新築又は増築に要する経費の2分の1を国が負担等行う)	
施設形態	<u>施設一体型</u> (※)、施設隣接型、施設分離型のいずれでも設置可能	

※ 今回の基本設計は、施設一体型で進めています。

* 現在町では、各中学校区単位で、小・小連携、小・中連携、乗り入れ授業の展開等により小中一貫教育を進めています。

小中一貫教育に関するQ & A

Q 小中一貫型小学校・中学校のメリットは何ですか？	A 校長が小・中学校にそれぞれ配置されるので、校長同士が連携・協力することで、きめ細やかな指導や多様化・複雑化する児童生徒への重層的な対応が可能と言われています。 教育課程面では義務教育学校に準じた措置が取れる上、小・中学校の区分が残るので、小学校高学年のリーダーシップの発揮や自主性を養う機会を得やすいと言われています。
Q 義務教育学校のメリットは何ですか？	A 校長が1人になることで、小学校・中学校間の調整が必要となる事項の意思決定の迅速化が期待できることがメリットとされています。 一方で、小学校と中学校の成長の節目がなくなることや校長が1人なることでの業務負担増大が指摘されています。
Q 義務教育学校になった場合、6年生の卒業式や中学1年生(7年生)の入学式はどうなりますか？	A 義務教育学校では、小学校と中学校の区分はなくなりますので、6年生の卒業式や中学1年生の入学式は行われません。
Q 授業の時間割は、小学生 45 分、中学生50分が基本ですが、どうなりますか？	A 小学校高学年から50分授業を行う学校もあるようです。併せて、教科担任制を導入するケースもあり、町としても検討していきます。
Q 小学校と中学校の授業時間の違いでチャイムの運用に支障はありませんか？	A 小・中学校校舎で、別々にチャイムを鳴らせるように設計を進めています。 ただし、小学校高学年は中学校校舎を使う設計となっているため、開始時刻等で同時刻のときだけ鳴らし、その他の時間は鳴らさない運用等、統合準備委員会を中心に検討を進めています。
Q PTA 組織はどうなりますか？	A 統合準備委員会で検討を進めますが、保護者の負担軽減につながるよう研究していきます。
Q 今回の統合小学校の新築によって、小中一貫教育に影響はありますか？	A 全国の小中一貫教育校を対象とした国立教育政策研究所の調査結果では、施設一体型が最も満足度が高く、隣接型、分離型の順に低くなっています。 今回の学校再編では、施設一体型として整備していきますので、一貫教育の推進に貢献できると考えています。